

でないように思われること。

とくに「イギリスにおいては総司令官は依然女王に直屬して内閣の指揮下になく」

(七〇頁) という軍事力が、その後の帝国主義時代の展開のなかでどのように再編成されるのかは興味のあるところである。

第二に、経済と政治過程の単線的な結合はいましめなければならぬとしても、一九世紀末以降のイギリス資本主義の帝国主義的展開のなかで、ロスチャイルドなどシティの金融資本家が国内政治、対外政策の面で果たした暗幕的役割をもっと追求する必要があるのではなからうか。この点、入江節次郎氏『独占資本イギリス人の道』などの見解の方により魅力を感じるがどうだろうか。

以上、紹介というよりも乱暴な引用にすぎなかったが、本書がイギリス史専門家のみではなく、筆者のような専門外の多くの人々に読まれることをお薦めして筆をおく。

(B6判 二八五頁 一九七四年刊 岩波書店 一一〇〇円)

(上野輝将・京都大学大学院学生)

会 告

○ 佐伯富理事長の御退任にともない、五月十五日の理事会において、互選の結果、今津晃氏が新理事長に選出されました。また新理事に川勝義雄氏、新評議員に大山喬平、応地利明、間野英二の三氏が推薦されました。

さらに佐伯富氏は定年御退官になりましたので、規約により顧問に推薦されました。○ 編集委員はこれまで六人の方にお願ひしておりましたが、編集業務が繁忙を極めていますため、新しく二人を増し、あわせて八人で編集にあたっていたくことになりました。現在の編集委員はつぎの方々です。

榮原永遠男氏 (国史学)

藤井 譲治氏 (国史学)

大谷 敏夫氏 (東洋史学)

重松 伸司氏 (西南アジア史学)

芝川 治氏 (西洋史学)

尼川 創二氏 (現代史学)

高橋 誠一氏 (地理学)

岡内 三真氏 (考古学)

○ 日本歴史学協会の委員として、史学研究会から岸俊男氏と萩原淳平氏が選ばれました。

会 告

今秋行なわれる第十回日本学術会議選挙にあたり、史学研究会はつぎの方を候補者として推薦することに決定いたしました。

日 比 野 丈 夫 (地方区)

史学研究会大会および総会

左記のごとく、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、多数御参会下さい。

日 時 十一月二日(土) 午後一時より

場 所 京都教育文化センター(市電・市バス熊野神社前下車西入)

公 開 講 演

殷代の社会と宗教

伊藤道治氏

鏡 と 剣

小林行雄氏

編 集 後 記

大分秋めいてまいりましたが、会員の皆様方には益々御研鑽にお励みのことと存じます。期日を大分すこして五七巻四号をお届け致すことになりましたことを心苦しく思っています。編集委員一同「史林」の定期刊行に尽力致しておりますので、御寛容のほどよろしくお願い致します。なお、編集委員会としては、今後ともできるだけ編集にユニークなものを企画致したいと思っておりますので、会員諸氏におかれましては、御感想・御意見などを編集部にお寄せくださるようお願い申し上げます。

一九七四年六月二五日印刷 定価六〇〇円
一九七四年七月一日発行

史 林 (第五七巻第四号)

発行人 史 学 研 究 会

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部

理事長 今 津 晃

振替京都五一五五番

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区七条御所ノ内中町五〇